



住宅基礎天端面仕上げ専用モルタル

# レベルアップ天端用

住宅基礎天端面仕上げ  
専用モルタル



ゼロアスベスト製品

昭和電工建材のプレミックスモルタルは全て、石棉や石棉関連の素材を一切含まないゼロアスベスト製品です。

## 工期短縮

- ・基礎コンクリート打設から天端仕上げまで1日の工程で仕上がります。

## 高品質、高性能、抜群の施工性

- ・レベリング性に優れ、流し込みと簡単なならしだけで仕上がります。
- ・「レベルアップ天端用」はセメント系ですので、強度・耐久性などの諸物性に優れています。

適用部位	一般住宅の住宅基礎天端面の仕上げ		
適用下地	コンクリート		
練り混水量	清水6.5~7.0ℓ		
塗り厚	5~20mm		
標準施工長さ	平均施工厚さ	基礎幅12cm	基礎幅15cm
	10mm	約13m	約11m
	15mm	約9m	約7m
荷姿	25kg防湿紙袋入り		

※用途につきましてご不明な点がございましたら、施工前に必ず当社へご相談ください。

### 日本建築仕上材工業会登録

商品名	レベルアップ天端用
表示登録番号	申請中
ホルムアルデヒド放散等級区分表示	申請中
製造業者等名称	昭和電工建材株式会社
ロット番号	梱包に表示
問い合わせ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>

本製品は ISO 9001 認証事業所によってつくられています。

# 昭和電工建材株式会社

1 コンクリート打設

○コンクリート打設天端面は、木ゴテである程度平滑にし、コンクリートの沈下を考慮した上、レベルアップ天端用の施工厚さが10mm程度となるようにしてください。

2 レベル出し

○天端ビス・マグネットを用いて、仕上げ面のレベル出しを正確に行います。天端ビス・マグネットの間隔は、約1mとします。

3 下地処理

○コンクリートのブリーディング水はスポンジ等で取り除き、コンクリート表面のレイタンス・ゴミ・埃・油分等は必ず除去し、刷毛や金ブラシなどでコンクリート表面の目荒らしを行ってください。コンクリート表面が乾いている場合は、適度な水湿しを行ってください。

4 混練

○所定水量を混練り用のバケツに入れ、高速ハンドミキサーで攪拌しながら徐々にレベルアップ天端用を投入し、投入完了後3分間以上混練りしてください。

5 流し込み

○流し込みはレベルポイントに合わせて正確に行います。レベルアップ天端用は流動性が高いので、堰板を用いるとより正確にレベルがとれます。打ち継ぎ部分は金鍍でならしてください。

6 養生

○施工面は、直射日光・雨・風にさらさないように、シート等で覆い養生を行ってください。

※詳しくはレベルアップ天端用施工要領書をご覧ください。

試験項目		試験結果	試験方法	規格値M-103
フロー値 cm	0分	25.9	JASS 15 M-103	19以上
凝結時間 時間 - 分	始発	5 - 00		45分以上
	終結	8 - 30		20時間以内
圧縮強度 N/mm <sup>2</sup>		30.8(材齢28日)		20以上
下地接着強度 N/mm <sup>2</sup>		1.7		0.7以上
耐衝撃性		割れ及びひびがなし		
曲げ強度 N/mm <sup>2</sup>		6.0(材齢28日)	JIS A 6916	

試験場所:当社建材技術センター ※カタログ記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。

注意事項

(施工上の注意)

- コンクリート打設後、翌日以降にレベルアップ天端用の施工を行う場合は次のようにしてください。  
打設後:コンクリート打設後、コンクリートの沈下が止まってから、ブリーディング水(浮き水)及びコンクリート表面のゴミ、レイタンス、油等を除去し、表面を目荒らし後、流し込んでください。
- 翌日以降:コンクリート硬化後、及び翌日以降レベルアップ天端用を施工する時は事前にコンクリート表面のゴミ、レイタンス、油等を除去し、ハイモルエマルジョンEV-300を1:水4の5倍希釈液を塗布、乾燥後施工してください。
- レベルアップ天端用は既調合品です。現場にて他の材料を混入しないでください。
- 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適切な保温、採暖を行ってください。
- 施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は施工を中止してください。
- セメント製品に特有の現象である白華(エフロ)が発生することがありますが、品質には異常ありません。

(使用上の注意)

- 取扱いは必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱いはうがい及び手洗いを充分に行ってください。
- 取扱いの器具類は早めに水洗いしてください。

(応急処置)

- 目に入った場合:直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合:直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合:大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

(保管上の注意)

- 雨露のかからない湿気の少ないところに保管し、地面に直接放置しないでください。
- 購入された材料は3か月以内に使用しきってください。

(運送上の注意)

- 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。
- 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水濡れに注意してください。

(廃棄上の注意)

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

(漏出時の注意)

- 飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。
- 排水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないように対策をとってください。

このカタログの記載内容は2012年10月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。カタログに記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。安全上の注意事項の詳細については別途、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

昭和電工建材株式会社

■本社・建設資材営業部

〒221-0024  
横浜市神奈川区恵比須町2-1  
TEL(045)444-1691  
FAX(045)444-1699  
http://www.sdk.co.jp/kenzai/

■仙台営業所	〒983-0044	仙台市宮城野区宮千代3-2-14	TEL(022)236-7108	FAX(022)283-0694
■名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄2-9-26	TEL(052)218-8085	FAX(052)202-1202
■大阪営業所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6-5-3	TEL(06)6100-2202	FAX(06)6100-1232
■福岡営業所	〒812-0025	福岡市博多区店屋町5-22	TEL(092)281-9881	FAX(092)281-9505
■横浜出荷センター	〒221-0863	横浜市神奈川区羽沢町字天屋83-1	TEL(045)370-6830	FAX(045)370-6832
■札幌出荷センター	〒003-0828	札幌市白石区菊水元町8条3-651-12	TEL(011)872-2671	FAX(011)871-0882
■東松山出荷センター	〒355-0076	東松山市下唐子1511-1	TEL(0493)27-0111	FAX(0493)25-1723
■千葉出荷センター	〒274-0081	船橋市小野田町857	TEL(047)457-3458	FAX(047)457-2153